

年 組 名前：

問1

藤井^{そなた}聡汰棋士は、これまで^は羽生^は善治棋士が
持っていた最年少五冠記録を、何年何カ月
縮めましたか。

「 年 カ月」

問2

将棋の八大タイトルのうち、藤井棋士が
まだ獲得したことのない3つのタイトル名は
何ですか。

「 」
「 」
「 」

問3

文中に出てくる「実力」「挑戦」「達成」という
3つの熟語を使い、文章を作ってください。

.....
.....
.....
.....
.....

藤井最年少五冠

王将奪取19歳6カ月

将棋の藤井聡太四冠(王将・王位・叡王・棋聖)が渡辺明王将(37)に挑戦した第71期王将戦7番勝負第4局は11、12日、東京都立川市で指され、114手で後手の藤井四冠が勝ち、4勝0敗で王将を奪取し五冠になった。19歳6カ月の5タイトル保持は最年少で史上4人目。八大タイトルの過半数の五冠を獲得し、全冠制覇が視野に入ってきた。

藤井新王将は「今回の7番(五冠は)自分の実力を考えると、出来過ぎの結果だ。今まで最年少は1993年、羽生善治九段(51)の22勝負は持ち時間が8時間と長くと、後それに見合う実力をつけていきいたい」と話した。

歳10カ月だった。五冠は故大山康晴15世名人、中原誠16世名人(74)も達成。羽生九段はタイトル戦が七つだった96年に全冠制覇を成し遂げた。藤井新王将は7度タイトル戦に出場し、2度の防衛を含め全て制している。2022年度は五つのタイトル防衛を戦いながら、王座戦と棋王戦で挑戦者を目指す。名人戦(7番勝負)出場の最短期は23年度)以外の最大七冠の可能性がある。

昨年(2021)は棋聖と王位を初防衛し、叡王を奪取。続く竜王戦7番勝負で豊島将之九段(31)を破り、最も若い四冠になった。愛知県瀬戸市出身。16年、最年少の14歳2カ月でプロ入り。17年にはデビューから無敗で最多の29連勝を成し遂げた。詰め将棋を得意とし、圧倒的な終盤の力を持つ。渡辺前王将は、名人と棋王の二冠に後退した。

(2022年2月13日付 山梨日日新聞 21面)